

教科（科目）	公民（現代社会）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（理系）
使用教科書	高校 現代社会 新訂版（実教出版）				
副教材等	『ニュービジョン現社』（浜島書店）『高校現代社会演習ノート』（実教出版）				

## 1 学習目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会の基本的な問題について公正な判断ができるようにする</li> <li>2. 人間としての在り方生き方について考える力を身につけさせる</li> <li>3. 良識ある公民として必要な能力と態度を育てる</li> </ol>
---

## 2 指導の重点

<p>希望進路が多岐にわたっていることから</p> <p>① 基本的な社会科学の用語の定着をはかる。② 大学受験にも対応できる応用思考を育む。 を指導の重点とします。</p>
---

## 3 学習計画

月	単元名	項目・教材	学習内容とねらい	時間	評価方法
4 5	第1編 現代社会の諸 課題	第1章 地球環境を 考える 第2章 科学技術の 発達と生命	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地球環境問題の1つとして、温暖化を取り上げ、それとの関わりで資源エネルギー問題を考えてみる。</li> <li>・高度情報社会の現状と課題について学習し、そこに生きる現代人にとって必要な情報リテラシーを身につけられるようにする。</li> </ul>	10	授業観察 中間考査
6 7	第2編 現代社会と人 間としてのあ り方生き方	第1章 青年期と自 己形成 第2章 哲学の誕生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理的－社会的な自立の時期である青年期の意義を理解させ、主体的な生き方の探求をめざす。</li> <li>・職業選択や社会参加の意義を考えさせ、自己と社会とのより良い関わりを自覚させる。</li> <li>・現代社会でよく生きるために必要な知識と心構えを、先哲の思想を通じて身につけられるようにする。また、日本の伝統的考え方と外来思想との融合について学習する。</li> </ul>	12	授業観察 期末考査
9 10	第2編	第3章 現代の国家 と民主政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権保障、国民主権、権力分立等、民主政治の基本原則を理解させ、各国の政治制度の特質を考えさせる。</li> </ul>	16	授業観察 中間考査
11 12	第2編	第4章 日本国憲法 と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の基本原則を、平和主義、基本的人権の保障、政治機構に即して理解させる。</li> <li>・平和主義については、日本の防衛政策や安全保障の現状を正確に理解させる。</li> <li>・人権保障では新しい人権、政治機構ではオンブズマン・裁判員制度などの意義も理解させる。</li> </ul>	14	授業観察 期末考査

1 2 3	第2編	第5章 国際政治の 動向 第6章 現代の経済 社会と政府の役割 第7章 経済活動の あり方と国民福祉 第8章 国際経済の 動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷戦終結後の国際社会の動きを理解させ、国際政治や国際経済の現状と課題を考えさせる。</li> <li>・国際社会、国際法の意義を理解させ、国連の役割と課題を考えさせる。</li> <li>・戦後の国際政治の動向を概観し、現代の地域紛争・人権問題・軍縮問題を理解させる。</li> <li>・資本主義経済の歴史、市場の仕組みと働きについて学習するとともに、企業の分類、株式会社の特徴と現状を理解させる。</li> <li>・敗戦から高度成長、バブル崩壊、現在までの日本経済の歩みを具体的な例を挙げながら理解させる。</li> <li>・現代の経済社会では、環境、消費者保護、労働、社会保障が重要な課題となっていることを理解させる。</li> <li>・国際経済のしくみと現状を理解させるとともに、その望ましいあり方を考えさせる。</li> </ul>	18	授業観察 期末考査
-------------	-----	--	--	----	--------------

合計70時間 (50分授業)

#### 4 課題・提出物等

ノートの確認や視聴覚教材を利用した際のレポート提出。

#### 5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
現代社会の現状や課題について自分にも身近な事柄が多いと感じ、自らの問題ととらえようとしている。	現代社会の課題に関して、公正かつ客観的に見ることができ、また自分なりに適切な意見を持っているか。新聞記事やビデオ課題を見た後のレポートで適切に自分の考えを表現できている。	政治・経済の現代的事象に関する資料を収集し、その中から有用な情報を適切に選択し効果的に活用している。	政治経済の近代・現代的な事象を教科書や資料集の図表・グラフからどの程度読み取れているか。基本的な用語をしっかりと理解して覚えている。

以上の点をふまえて、中間・期末テストを基本とし、課題やレポート提出、夏休み中の調べ学習、授業中の質問に対する受け答え、授業態度、学期末のノート提出などで、総合的に評価します。

#### 6 担当者から一言

現代社会では価値観が多様化し、政治・経済も複雑化しています。こんな時代だからこそ先人の知恵が必要で、主体的な哲学が求められています。人としての在り方生き方をじっくり学んで欲しいと思います。  
(担当：佐藤 憲一)

教科(科目)	公民(倫理)	単位数	2単位	学年(類型)	3学年(文系)
使用教科書	『高校倫理 新訂版』(実教出版)				
副教材等	『アプローチ倫理資料PLUS』(東京法令出版) 『高校倫理演習ノート』(実教出版)				

1 学習目標

先哲の思想を通じて多様な人間観・世界観を学び、自己のアイデンティティの確立と人格形成に対する指針を与えとともに、他者や他文化を尊重しようとする態度を育成する。

2 指導の重点

- ①倫理で学習する用語の意味を正しく理解して、文章の正確な読解や記述・表現ができることを目指します。
- ②現代社会の諸課題について、先哲の思想と関連させながら、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ③レポート作成や発表、討論を通して、他者の意見を共感的に理解しようとする態度を育てます。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動	時間	評価方法
4	現代に生きる 自己の課題	人間とは何か 青年期の課題と自己 形成	人間性の特質について考察し、自分の考えをまとめる。 青年期をアイデンティティ確立の時期として理解し、生涯にわたり繰り返される自己の成長について考察する。 自己の内面を客観的に見つけ、欲求の充足と調整への理解を通して、望ましい自己のあり方について考察する。	10	定期考査 授業での 発言・取組
5	人間としての 自覚	人生における哲学	ギリシア思想を学び、哲学的なものの見方や考え方にふれる。 ○1学期中間考査		
6		人生における宗教	ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、仏教について学び、それぞれにみられる人間観について理解する。 中国思想を学び、個人の内面のあり方や他者とのつながりについての理解と思索を深める。	12	定期考査 授業での 発言・取組
7		人生における芸術	芸術への理解を通して、創造的に生きることの意義について考察する。 ○1学期期末考査		
8	現代に生きる 人間の倫理	人間の尊厳 科学・技術と人間	人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学・技術と人間との関わりについての理解と思索を深める。	16	定期考査 授業での 発言・取組
9		民主社会と自由の実 現	民主社会における人間のあり方や自由の実現、個人と社会との調和や社会改良、社会参加と幸福についての理解と思索を深める。		
10		社会と個人 社会参加と幸福	○2学期中間考査		
11	国際社会に生 きる日本人と しての自覚	日本の風土と外来思 想の受容	日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質を、日本の風土や伝統、外来思想の受容を踏まえて理解する。	14	定期考査 授業での 発言・取組
12		現代の日本と日本人 としての自覚	儒教の日本化や庶民の思想、外来思想の特徴を理解するとともに、それらが日本人の思想形成に与えた影響について考察する。 ○2学期期末考査		
1	現代の諸課題 と倫理	生命倫理や環境倫理、 家族や地域社会の課 題、共生社会、グロー バルな社会などから 選択	自ら選択した現代の倫理的課題について、これまで学んできた先哲の思想を踏まえて、自己自身の課題と関連させながら主体的に探究し、レポートにまとめる。 ○学年末考査	18	レポートの 記述 定期考査
2					

計 70 時間 (50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

単元ごとに課題を指示します。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
先人の思想や生き方、自分自身がどうであるかについて関心を高め、自分らしい自分になるために行動する意欲を持つと共に、これらにかかわる諸課題について、自分や他者、社会との関わりから学び考える態度を身に付けている。	自分らしい自分になるための課題を明らかにし、他者との関わりの中での自分自身の立場や社会の一員としての立場がどうあるべきかについて正しく判断できている。 また、発表の場面では、他者の意見も尊重しつつ、自分の言葉で発表できている。	諸資料を様々なメディアをおして収集し、必要な情報を選択、まとめることができている。	先人の思想や現代社会の特質についての基礎・基本的な知識を理解し、自らの人生観・世界観を形づくるための知識として身に付けている。

以上の観点を踏まえ、

- ・授業の取組(授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況など)
  - ・授業ノートやレポート課題など提出物の内容
  - ・定期テスト
- などから、総合的に評価します。

#### 6 担当者からの一言

倫理で扱う内容は、社会や他者との関係において、人としてどうあるべきか、いかに生きるべきかに関わるものがほとんどです。ですから、それらの学習を通して、自分ならどうするか、どのように行動するかということを常に考えながら学ぶことが大切です。また「よく考える」ためには、先人の思想を学ぶだけでなく、周りの人の意見や考えを参考にしたり、自分の考えを他人に理解してもらうことも大切でしょう。(担当：目黒 正行)

教科（科目）	公民（政治経済）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年(文系)
使用教科書	『高校政治・経済 新訂版』（実教出版）				
副教材等	『最新図説政経』（浜島書店）『高校政治経済演習ノート』（実教出版）				

1 学習目標

- ① 民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につけさせる。
- ② 政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察する力を育てる。
- ③ 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 指導の重点

希望進路が多岐にわたっていることから

① 基本的な政治・経済の用語の定着をはかる。② 大学受験にも対応できる応用思考を育む。を指導の重点とする。

3 学習計画

月	単元名	項目・教材	学習内容とねらい	時間	評価方法
4 5	現代の政治	・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の基本的性格	・民主政治の本質を世界のおもな政治体制と関連させて理解する。 ・基本的人権の意義、法の支配、民主政治の発達と人権の発達、20世紀の教訓を学習し民主政治の課題は何か考える。 ・日本国憲法の成立、日本国憲法における平和主義、基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する	10	ノート点検 授業観察 中間考査
6 7	現代の政治	・日本の政治機構 ・現代日本の政治 ・現代の国際政治	・日本の国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているか理解し、他の国の制度とくらべて今後の課題は何か考える。 ・戦後政治の流れと日本の特徴、政党と選挙、行政機能の優位、世論の役割について学習し、日本の政治がかかえる問題について考える。 ・国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動、東西冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理について学習し、国際政治と日本の関係について考える。	12	ノート点検 授業観察 期末考査
9 10	現代の経済	・経済社会の変容 ・現代経済のしくみ	・こんにちの経済を、企業、家計、政府の役割、市場による調整、世界経済における相互依存などの視点から理解する。 ・経済活動の特徴、資本主義経済の発達と変容、資本主義経済の特徴について学習し、経済活動の意義について考える。	16	ノート点検 授業観察 中間考査

11 12	現代の経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代経済と福祉の向上</li> <li>世界経済と日本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済主体の役割、市場のしくみ、国民所得、経済成長、金融のしくみ、財政の役割を学習し、経済活動がどのように調整されているか考える。</li> <li>日本経済の発達のながれ、中小企業問題、日本の農業、国民の生活、環境・公害問題、労働問題、社会保障の役割について学習し、さまざまな課題にどのように取り組むべきか考える。</li> <li>商品・資本の国際取引、国際収支、資本主義経済の展開、南北問題を学習し、世界経済と日本経済のかかわりについて考える。</li> </ul>	14	ノート点検 授業観察 期末考査
1 2 3	現代社会の諸課題	現代日本の政治や経済の諸課題 国際社会の政治や経済の諸課題	生徒は、現代日本の政治や経済の諸課題と、国際社会の政治や経済の諸課題から、それぞれ課題を選び、その課題の問題点を明確にして、その解決法を考える。	18	ノート点検 授業観察 期末考査

合計70時間 (50分授業)

#### 4 課題・提出物等

单元ごとに課題を指示します。

#### 5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
現代の政治・経済・国際関係について関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追究するとともに、客観的に考えようとする態度を身につけている。	現代の政治・経済・国際関係に関わる事象から課題を見だし、その課題の本質や望ましい解決の在り方などについて、広い視野に立って多角的・多面的に考察し、様々な立場を踏まえながら公正に判断し自分の考えや意見を適切に表現できる。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々な手段を通して収集し、且つ集めた情報を主体的に選択し活用することができる。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。
以上の点をふまえて、中間・期末テストを基本とし、課題やレポート提出、夏休み中の調べ学習、授業中の質問に対する受け答え、授業態度、学期末のノート提出などで、総合的に評価します。			

#### 6 担当者から一言

民主主義の危機とは、人々が政治・経済について関心を持たなくなることです。1人1人が政治・経済の主体であるということ意識しながら学んで欲しいと思います。

(担当：眞島 智宣)

令和5年度シラバス (体育)

学番 48 新潟県立加茂高等学校

教科(科目)	保健体育(体育)	単位数	2単位	学年(類型)	3学年
使用教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)				
副教材等	現代高等保健体育ノート 改訂版 (大修館)				

1 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。

2 指導の重点

- ・小学校から高等学校までの12年間の一貫した教育課程の中で最終学年となることから、
- ② 「する、みる、支える、知る」の視点から運動やスポーツの多様な楽しみ方を理解する事を目指す。
- ② 健康・安全を確保して生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
- ③ 卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わることができるようにする事を目指す。
- ④ 公正、協力、責任、参画、共生などの社会的態度を養い、スポーツの文化的価値に対する理解を深める。

3 学習計画

月	単元名	項目・教材	学習内容とねらい	時間	評価方法
4 5	オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育を学習する意味を理解し、学習に対する意欲を高める</li> <li>・授業における注意事項等を確認する</li> </ul>	1	
	体づくり運動	体ほぐしの運動 体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことの楽しさや心地よさを味わう</li> <li>・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解する</li> <li>・体力テストを行い、自らの体力を知り、運動能力の向上に努力する。</li> <li>*体ほぐしの運動</li> <li>・心と身体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づく</li> <li>・仲間と主体的に関わり合う</li> </ul>	6	活動の様子 (行動の観察)
5	陸上競技	長距離走 (グラウンドコース走 1000m走/1500m走)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう</li> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。</li> <li>・自己に適したペースを維持して走る</li> </ul>	6	活動の様子 (行動の観察) 記録用紙 (記述の確認)
6 5 1 0	選択Ⅰ・Ⅱ	<晴天時> サッカー テニス ソフトボール  <雨天時> バレーボール バドミントン ダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなど多様な楽しさや喜びを味わう</li> <li>・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する</li> <li>・作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する</li> <li>・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などの理解をする</li> <li>・自己に適した技で演技する</li> <li>・感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなど多様な楽しさや喜びを味わう</li> </ul>	24	活動の様子 (行動の観察)  実技テスト (技術の確認)  班別学習ノート (記述の点検)
1 0 ~ 1 2	選択Ⅱ	バレーボール バスケットボール 卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなど多様な楽しさや喜びを味わう</li> <li>・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する</li> <li>・作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する</li> </ul>	15	活動の様子 (行動の観察)  実技テスト (技術の確認)  班別学習ノート (記述の点検)

1	体育理論	現代高等保健体育改訂版（体育編）	豊かなスポーツライフの設計 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ 3 日本のスポーツ振興 4 スポーツと環境 ・生涯にわたってスポーツと豊かに関わるためのスポーツライフの設計の仕方について学習する  ・スポーツの理解度テスト *各種スポーツのルールについて学習する	6	レポート作成
2	選択Ⅲ	バレー バドミントン 卓球	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなど多様な楽しさや喜びを味わう ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する ・作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する	12	活動の様子 （行動の観察）  実技テスト （技術の確認）  班別学習ノート （記述の点検）

計 70 時間 (50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・各種目の最後に記録の計測や実技テストを行う。
- ・選択授業では活動の様子を班ごとに学習ノートを記入し、提出する。
- ・怪我等で見学をする場合は、前もって事情を担当者に申し出て、授業後に見学用紙を提出する。
- ・体育理論では課題レポートを作成し、授業後に提出する。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行う。			
(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(運動の技能)	(知識・理解)
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしている。公正、協力、責任などの社会的態度が身に付いている。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしている。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、技能を高めている。	運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み（授業態度、学習への参加状況など） ・レポートや記録用紙、班別学習ノート等提出物の提出状況、及び内容 ・各種目の実技テスト、計測結果、試合結果 などから総合的に評価します。			

#### 6 担当者からの一言

最終学年の体育授業は、選択した各種目における活動の計画を立案し、内容を考え、リーダーを決めて主体的に行う活動になる。これまでの知識と経験を活かして、卒業後においても、実生活、実社会の中で変化に対応して、楽しみながら継続的で健康的なスポーツライフを営むことができる学習習慣を身につける。

(担当：小野 武彦)



教科(科目)	家庭(家庭総合)	単位数	2単位	学年(類型)	3学年
使用教科書	教育図書『新家庭総合 今を学び 未来を描き 暮らしをつくる』				
副教材等	実教出版『ニュービジュアル家庭科』 教育図書『新家庭総合 準拠ノート』				

### 1 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

### 2 指導の重点

・近年、家庭における様々な生活体験の機会が少なくなっている生徒が増加していることから、  
 ① 生活を営む上で必要な基本的知識や技能の習得を目指します。  
 ② 実習やグループワークを通して自分の考えを表現し、他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。  
 ③ 各自の生活を充実向上させるため、学習したことを生活の場で生かせるようにすることを目指します。

### 3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
4	食生活	1 食生活を見つめよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の食生活を振り返り、問題点を意識させる。</li> <li>・栄養のめやすを理解させる。</li> <li>・現代の食生活の問題点を認識する。</li> </ul>	2	レポート	
				2	ワークシート 映像教材視聴記録	
				3		
				4		
5	2 私たちが食べているもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素の種類と働きや食品について調べ知識を身につける。</li> <li>・調理実習を行い、調理の理論と技術や食卓作法を身につける。</li> </ul>	10	実習の取り組み 実習レポート		
			6			
7	期末考査			1	学習ノート	
8	食生活	3 安全・安心な食品を選ぼう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食中毒・食品添加物・食品表示についての知識を身につける。</li> <li>・高校生の一日の献立を作成する。</li> </ul>	6	ワークシート	
				9	映像教材視聴記録 実習レポート	
				5		
9	4 献立と調理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の食文化を守りながら環境を考えた食生活をめざす。</li> </ul>	3	演習作品		
			5 食と暮らしのかかわり			
10	高齢期	1 超高齢社会を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の心身の特徴と生活、高齢者の福祉などについて理解させる。</li> <li>・介護の基礎を体験的に学ぶことを通して、高齢者の自立生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について認識させる。</li> </ul>	5	ワークシート	
				11	映像教材視聴記録 実習レポート	
				5		
11	2 高齢期とは	3 高齢期の生活をささえるしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の基礎を体験的に学ぶことを通して、高齢者の自立生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について認識させる。</li> </ul>	5	実習レポート	
				12	期末考査	
1	住生活	1 人と住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住生活の機能、住空間の計画、住環境の整備などについて科学的に理解させる。</li> <li>・住生活の文化に関心をもたせ、必要な技術を習得して充実した住生活を営むことができるようにする。</li> </ul>	4	ワークシート	
				10	映像教材視聴記録 実習作品	
				2 住まいの空間と構成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・住生活の文化に関心をもたせ、必要な技術を習得して充実した住生活を営むことができるようにする。</li> </ul>
				3 住まいの安全・社会と環境		
1	学年末考査			1		

計 70 時間 (50分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・毎時間、ワークシートを記入し、提出してもらいます。
- ・毎回の調理実習、その他実習・演習後にレポート提出があります。
- ・定期考査後に準拠ノートを提出してもらいます。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現)	(技能)	(知識・理解)
高齢者との関わりと福祉、食生活、住生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。	高齢者との関わりと福祉、食生活、住生活について生活課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造、表現する能力を身に付けている。	高齢者との関わりと福祉、食生活、住生活に関して生活を主体的に営むための基本的な技術を身に付けている。	高齢者との関わりと福祉、食生活、住生活に関する基本的な知識を身に付け、必要な情報の整理・収集ができる。

以上の観点を踏まえ、

- ・授業の取組(授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況など)
  - ・毎時間記入するワークシート、準拠ノートなど提出物の内容
  - ・実習・演習で制作した作品・レポート
  - ・定期テスト
- などから、総合的に評価します。

#### 6 担当者からの一言

学習したことで各自の生活で活用できるものを見つけ、実行してください。知識や技能を確実に身につけ、生活の充実向上に必要なことは何かを考え、実践していきましょう。

(担当：浅野 由利)